

2026 年 7 月 30 日
 米国経済

 りそなホールディングス 市場企画部
 ストラテジスト 武居 大暉

日米欧 Market View: 2026 年 7 月 FOMC とマーケット環境の整理

FF 金利の誘導目標レンジを 3.50%－3.75%に据え置くことを決定

要約

- FRB は政策金利である FF 金利の誘導目標レンジを 3.50%－3.75%に据え置くことを決定
- ウォーシュ議長の記者会見は、FRB 高官の間で利上げに肯定的発言が相次いだことや FOMC 参加者間で意見が割れていることに反して、利上げ機運を高めるようなものではなかった
- 今回の FOMC では、見通し変更に至るような追加情報はなかった。インフレ影響の精査をはじめ、引き続き様々なことが先送りされただけの様な印象である
- ウォーシュ議長は、「市場のシグナルを注視しているが、干渉しないよう努める」と述べており、意図的に情報を与えないようにしている面もあるが、不確実性を高めている可能性を筆者は懸念している

概要: FF 金利の誘導目標レンジを 3.50%－3.75%に据え置くことを決定

FRB は政策金利である FF 金利の誘導目標レンジを 3.50%－3.75%に据え置くことを決定した。クリーブランド連銀ハマック総裁、ミネアポリス連銀カシュカリ総裁、ダラス連銀ローガン総裁の 3 人は反対票を投じた。

声明文に特段の変更はなかった。センチメントを定量的に判断すると、2022 年初頭以来の高水準が前会合から維持された(図表 2)。

もっとも、ウォーシュ議長の記者会見は、FRB 高官の間で利上げに肯定的発言が相次いだことや FOMC 参加者間で意見が割れていることに反して、利上げ機運を高めるようなものではなかった。より具体的には、「インフレの高止まりが続けば、金利は解決策の一部となるが、唯一の手段だとは言えない」、(インフレが供給ショックによって引き起こされていることについて)「どの程度影響があり、価格への波及がどれだけ広がっているのかを理解しようとしている状況だ」等と述べ、拙速な利上げ織り込みをけん制した。また、「金利は現時点で 42 日前よりも高い」、「金融市場の価格は実体経済に影響を与える方法の一つ」等と述べ、利上げをせざるも金融引き締め効果が発現しているとの認識を示した。なお、これらを受け、イールドカーブはステープ化が進んだ。

今回の FOMC では、見通し変更に至るような追加情報はなかった。インフレ影響の精査をはじめ、引き続き様々なことが先送りされただけの様な印象である。ジャクソンホール会議についても「まだ 9 月～12 月の間にどのような行動を取るかについて話す伝統的な形式にするか、大きな課題について語る形式にするかは決めていない」とのことで、目先の動向についても、情報発信を控えた。ウォーシュ議長は、「市場のシグナルを注視しているが、干渉しないよう努める」と述べており、意図的に情報を与えないようにしている面もあるが、**不確実性を高めている可能性を筆者は懸念している。**

直近のマーケットは非常にボラタイルな展開が続いている。中東情勢の悪化、AI・半導体関連株の急落等が主因であろうが、判断材料に乏しい FOMC に向けてポジション調整が生じていた可能性も否定できない。また、FOMC 当日に限れば、記者会見中にイールドカーブがステープ化し、株式市場ではハイテク株が調整色を強めたことも事実である。



図表 1: FOMC 参加者の経済見通し

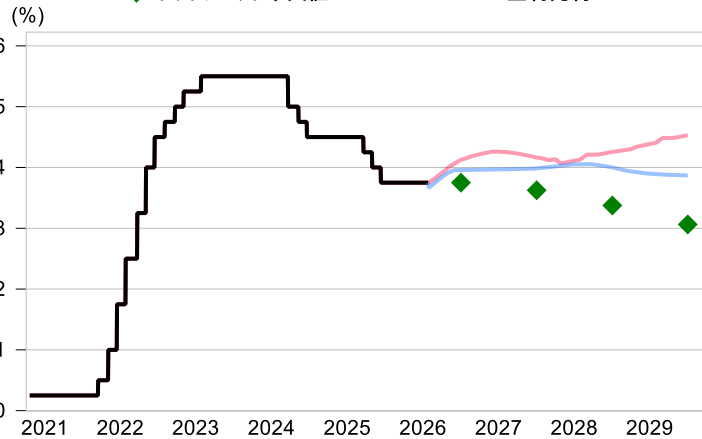
	2026	2027	2028	Longer Run
実質GDP成長率	2.2	2.3	2.2	2.0
失業率	4.3	4.3	4.2	4.2
PCEインフレ率	3.6	2.3	2.0	2.0
コアPCEインフレ率	3.3	2.5	2.1	2.1
FFレート	3.8	3.6	3.4	3.1

出所: マクロボンド

注: 2026年6月時点の予想

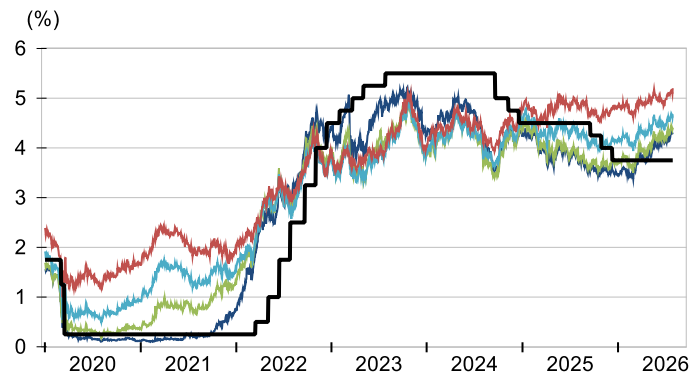
図表 3: ドット中央値と先物の政策金利織り込み

◆ ドットプロット中央値 — SOFR — FF金利先物



出所: マクロボンド

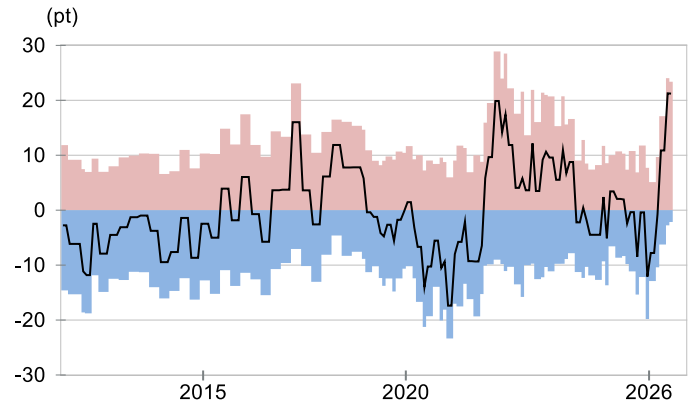
図表 5: 米金利の推移

— 米2年金利 — 米10年金利 — FFレート
— 米5年金利 — 米30年金利

出所: マクロボンド

図表 2: FOMC 声明文センチメント

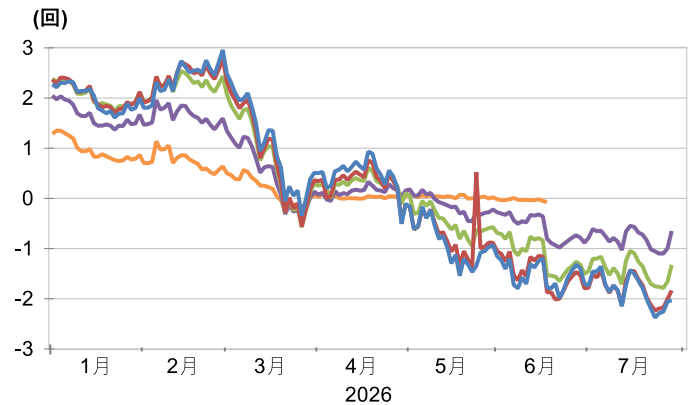
— FOMC声明文センチメント ■ タカ派成分 ■ ハト派成分



出所: Bloomberg

図表 4: 各会合までの金融政策の織り込み

— 27/06 — 27/03 — 26/12 — 26/09 — 26/06

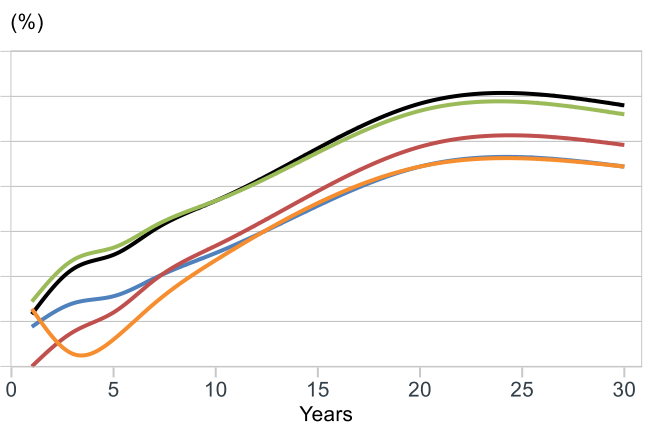


出所: Bloomberg

注: マイナスは利上げ

図表 6: 米国のイールドカーブ

— 1年前 — 3か月前 — 1か月前 — 1週間前 — FOMC前日



出所: マクロボンド

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

■バックナンバー(直近発行レポート 50 本)

No	発行日	テーマ	タイトル
340	2026/3/2	日本株	日本株需給(2月16日～2月20日)
341	2026/3/2	日本株	日本株 2026 年 2 月レビューと 3 月見通し
342	2026/3/4	欧州経済	26 年 2 月ユーロ圏物価動向
343	2026/3/4	日本株	10-12 月期決算集計と日本株ストラテジー～日経平均株価は 26 年末に 63,000 円へ
344	2026/3/6	日本株	中東情勢の悪化と日本株への影響
345	2026/3/6	日本株	日本株需給(2月24日～2月27日)と Weekly データ集
346	2026/3/13	日本株	日本株需給(3月2日～3月6日)と Weekly データ集
347	2026/3/16	半導体, 米国株	2026 年 3 月半導体市場及びハイテク株動向
348	2026/3/19	米国経済	2026 年 3 月 FOMC とマーケット環境の整理
349	2026/3/23	日本株	日本株需給(3月9日～3月13日)と Weekly データ集
350	2026/3/27	日本株	日本株需給(3月16日～3月19日)と Weekly データ集
351	2026/4/1	欧州経済	26 年 3 月ユーロ圏物価動向
352	2026/4/1	日本株	日本株 3 月レビューと 4 月見通し
353	2026/4/3	日本株	日本株需給(3月23日～3月27日)と Weekly データ集
354	2026/4/10	日本株	日本株需給(3月30日～4月3日)と Weekly データ集
355	2026/4/14	半導体, 米国株	2026 年 4 月半導体市場及びハイテク株動向
356	2026/4/17	日本株	日本株需給(4月6日～4月10日)と Weekly データ集
357	2026/4/24	日本株	日本株需給(4月13日～4月17日)と Weekly データ集
358	2026/4/30	米国経済	2026 年 4 月 FOMC とマーケット環境の整理
359	2026/5/1	欧州経済	26 年 4 月ユーロ圏物価動向
360	2026/5/1	欧州経済	26 年第 1 四半期ユーロ圏 GDP 統計
361	2026/5/1	日本株	日本株 2026 年 4 月レビューと 5 月見通し
362	2026/5/1	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
363	2026/5/7	日本株	日本株需給(4月20日～4月24日)と Weekly データ集
364	2026/5/13	半導体, 米国株	2026 年 5 月半導体市場及びハイテク株動向
365	2026/5/13	日本株	日本株需給(4月27日～5月1日)と Weekly データ集
366	2026/5/15	日本株	日本株需給(5月7日～5月8日)と Weekly データ集
367	2026/5/22	日本株	日本株需給(5月11日～5月15日)と Weekly データ集
368	2026/5/22	半導体, 米国株	エヌビディアの決算 FY2027 1Q
369	2026/5/25	欧州経済	26 年第 1 四半期ユーロ圏賃金動向
370	2026/5/29	日本株	日本株需給(5月18日～5月22日)と Weekly データ集
371	2026/6/1	日本株	日本株 2026 年 5 月レビューと 6 月見通し
372	2026/6/3	日本株	1-3 月期決算集計と日本株ストラテジー～日経平均株価は 26 年末に 69,000 円へ
373	2026/6/3	欧州経済	26 年 5 月ユーロ圏物価動向
374	2026/6/5	日本株	日本株需給(5月25日～5月29日)と Weekly データ集
375	2026/6/12	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
376	2026/6/12	日本株	日本株需給(6月1日～6月5日)と Weekly データ集
377	2026/6/15	世界経済, 世界株	マクロチャートブック 2026 年 6 月号
378	2026/6/15	日本株, 日本経済, ドル円	米イラン合意とマーケットへの影響
379	2026/6/15	半導体, 米国株	2026 年 6 月半導体市場及びハイテク株動向
380	2026/6/18	米国経済	2026 年 6 月 FOMC とマーケット環境の整理
381	2026/6/19	日本株	日本株需給(6月8日～6月12日)と Weekly データ集
382	2026/6/26	日本株	日本株需給(6月15日～19日)と Weekly データ集
383	2026/7/1	日本株	日本株 2026 年 6 月レビューと 7 月見通し
384	2026/7/2	欧州経済	26 年 6 月ユーロ圏物価動向
385	2026/7/3	日本株	日本株需給(6月22日～6月26日)と Weekly データ集
386	2026/7/10	日本株	日本株需給(6月29日～7月3日)と Weekly データ集
387	2026/7/10	世界経済, 世界株	マクロチャートブック 2026 年 7 月号
388	2026/7/17	日本株	日本株需給(7月6日～7月10日)と Weekly データ集
389	2026/7/17	半導体, 米国株	2026 年 7 月半導体市場及びハイテク株動向

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。